

赤い靴通信 348号

発行：赤い靴記念文化事業団
〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルクセンター
TEL 045-641-3066 FAX 045-641-1881
<http://www.akaikutsu.net> mail: akaikutu@cameo.plala.or.jp

NPO法人「かながわ避難者と共にあゆむ会」の主催で「かながわから届けよう♪Song for 東北」と銘打ったコンサートが横浜駅西口の県民センターで行われ、赤い靴ジュニアコーラス青隊とあかいくつテンダーフット（赤隊から2名参加）そして、横浜☆男声合唱団が出演しました。開催された3月12日は東日本大震災の5周年を迎えた次の日でした。罹災者で神奈川に移住し、最近福島県楢葉町に帰った高原あかねさんと、罹災地で度々支援活動を行うデュオ、AREA AREA（アレアレア）さんがご一緒でした。ボランティアの方々の心温まる気持ちとおもてなしにより素晴らしい雰囲気の中、歌わせていただきました。ここ神奈川では未だ4千人以上の方々が故郷に帰れないでいるのだそうです。ボランティアの皆様は、風化させることは出来ないと支援団体を作り、対話によって悩みを共有し、できることを実行している素晴らしい方々です。

その翌日は先日公演が行われたミュージカル「おさん伝説」の公演後初めての茶話会でした。午前中、この伝説の由つて来る「お三の宮・日枝神社」に伺いました。角井宮司さんは皆にお祓いをしてくださいました。ミュージカル以降、お宮参りなどでご祈祷を頼む方が増えているようです。御利益があつたといふことでうれしく思いました。茶話会では、江戸清さんから熱々ビッグまんじゅうの差し入れをいただき、出演者による寸劇が行われるなど楽しい時間を過ごしました。

7月22日・23日公演の横浜市民こどもミュージカル「横浜キャッツ～ミケ・ラン・ジェロ～」のオリエンテーションが今月26日にありました。経験者も初参加のメンバーも、皆さん自己紹介での主張がはつきりしていて気持ちがいいくらいです。新しく作曲されたオリジナルソングの練習では、2、3回歌うと早速素晴らしいアンサンブルを聞かせてくれました。ダンスの表現力も素晴らしい、本番が楽しみです。

そして、赤い靴ジュニアコーラス赤隊は、神奈川フィルハーモニーの演奏で横浜少年少女合唱団と踊って歌う人気番組「こどもの日コンサート」に、今年はなぜか児童合唱がなく残念に思っています。今回は俳優の谷原章介さんと神奈川フィルが出演されるそうです。しかし、私たちには7月10日（日）杉田劇場の定期公演のあと、8月20日のインター・コンチネンタルホテルの25周年記念コンサートがあります。そこにはボップス系のオーケストラ「インミナート」と世界で活躍しているトランペッタ奏者、日野皓正さんが出演、そして指揮は有名な西本智実さん、企画は「題名のない音楽会」の構成を担当された新井鷗子さんで、練習風景の撮影もあるなどひょっとしたらひょっとするかもしれない楽しい「横浜音祭り」が決定しました。横浜みなとみらい大ホールで開催されます。アーティストと

う♪Song for 東北」と銘打ったコンサートが横浜駅西口の県民センターで行われ、赤い靴ジュニアコーラス青隊とあかいくつテンダーフット（赤隊から2名参加）そして、横浜☆男声合唱団が出演しました。開催された3月12日は東日本大震災の5周年を迎えた次の日でした。罹災者で神奈川に移住し、最近福島県楢葉町に帰った高原あかねさんと、罹災地で度々支援活動を行うデュオ、AREA AREA（アレアレア）さんがご一緒でした。ボランティアの方々の心温まる気持ちとおもてなしにより素晴らしい雰囲気の中、歌わせていただきました。ここ神奈川では未だ4千人以上の方々が故郷に帰れないでいるのだそうです。ボランティアの皆様は、風化させることは出来ないと支援団体を作り、対話によって悩みを共有し、できることを実行している素晴らしい方々です。

その翌日は先日公演が行われたミュージカル「おさん伝説」の公演後初めての茶話会でした。午前中、この伝説の由つて来る「お三の宮・日枝神社」に伺いました。角井宮司さんは皆にお祓いをしてくださいました。ミュージカル以降、お宮参りなどでご祈祷を頼む方が増えているようです。御利益があつたといふことでうれしく思いました。茶話会では、江戸清さんから熱々ビッグまんじゅうの差し入れをいただき、出演者による寸劇が行われるなど楽しい時間を過ごしました。



今後のスケジュール

4/11日(月)~13日(水)	
国際シニア合唱祭	
ゴールデンウェーブin横浜	
ザ・シワクチャーズ横浜出演	
12日 Fブロック@4時6分	
7/10日(日)杉田劇場	
第29期あかいくつ定期演奏会	
ATF・赤い靴ジュニアコーラス	
7月23日(土)24日(日)	
横浜市民こどもミュージカル	
「横浜キャッツ～ミケ・ラン・ジェロ～」	
関内ホール 小ホール	
8/20(土)	
インターベンチナルホテル	
25周年記念 アトリウム	
赤い靴ジュニアコーラス出演	
8/22(月)	
小黒恵子先生メモリアル	
花とライオン児童合唱音楽賞	
受賞合唱団 参加	
赤い靴ジュニアコーラス赤青隊	
あかいくつテンダーフット	
みどりアートパーク	
JR横浜線 長津田駅北口下車	
9/21(水)ヨコハマ音祭り	
オープニング	
みなとみらい大ホール 19:00	
赤い靴ジュニアコーラス赤隊	
横浜少年少女合唱団	
オーケストラ インミナート	
指揮 西本智実	
トランペッタ 日野皓正	
題名のない音楽会 構成 新井鷗子	

写真右上 ミュージカル スタート・上中央 中区町内会長感謝祭 ザ・シワクチャーズ

2016・3・30 団長 松永 春

の共演など嬉しいお話ですね。皆、練習に練習を重ねて、どのコンサートでも素晴らしい結果を出しますよね。

さて話題は様々ですが、一昨年、赤い靴はいてた女の子像の前で「赤い靴」を歌い、その際カメラが入りましたね。あれは映画「ヘンリの赤い靴」のワンシーンです。いささか封切りが遅いと思っていたところ、先日、中村監督が来て「実は今海外版を作っているので出演者のエンドロール（映画の終わりに出る名前）のため正式なロード字表記をお願いしたい」ということなのです。海外の映画祭にも出品して評価を得たいのと、この映画を発案したヘンリー・ミトワさんが戦時中日系人の強制収容所に白人ながら入れられた不条理にも触れたと言います。前にも書きましたが、ヘンリーさんのお兄さんのジョン・ミトワさんが私の友人であったのがきっかけでした。ヘンリーさんは横浜生まれで戦前に自國を訪ねた後、戦争がはじまり日本に戻れないまま運命に流れ、やがて京都の天龍寺の僧侶となり、映画「ヘンリーの赤い靴」を自ら手がけることを望んでいましたが、93歳で数奇な生涯を終え中村監督が引き継いだということです。

戦時中、日系人はJAP（ジャップ）といわれ、移住以来真面目に不毛の地を開拓し、農作物を作り全米に供給していたにもかかわらず、財産を没収され不当な目にあいました。戦争が終わり再びゼロから人生をやり直した彼らを神は救いました。一部の若い日系人は進んでアメリカの軍隊に入り、有名な442部隊などはイタリー戦線で武勲を立て大統領から勲章をいたいたという記事も見ました。そのような日系人の活躍もあって良識ある政治家や当時台頭した日系議員などが奔走し、大統領がその非を認め謝罪し慰謝料を支払い、名誉を回復させたのです。多分そのようなことも入つての封切りだらうと思います。

それからジュニアコーラス赤隊の飯島明日香さんがピアノコンクールで優秀賞に輝き、7月に銀座のヤマハホールで記念コンサートがあります。